

漁港は魚の保育園



漁港漁場月報のバックナンバーは左のQRコードから読むことができます

漁港漁場月報

令和6年5月15日 発行
毎月1回15日発行
公益社団法人 全国漁港漁場協会
発行人 高吉 晋吾
東京都千代田区神田鍛冶町3-6-7
ワンピン神田ビル2階
電話 東京(6206)0066
ホームページ http://www.gyokou.or.jp/
定価 1部 70円 (会員の購読料は会費の中に含む)

水産庁が技術検討会を設置

能登半島地震

漁港の復旧・復興方針など検討
知見ない地盤隆起

令和6年能登半島地震では最大震度7を観測し、漁港においては、揺れと津波による被害に加え、能登半島外浦地域を中心に最大4m程度の地盤隆起による被害が発生した。

狼煙漁港(狼煙地区)
浚渫工事を開始

狼煙漁港(狼煙地区)において、地震による隆起が発生し、泊地や航路の水深が浅くなったこと

漁港漁場関係団体の能登地震対応

復旧・復興に向け具体化へ

(公社)全国漁港漁場協会は、これまで水産、石川県からの要請を受け、協会が事務局を務める漁村災害ボランティア派遣制度によりボランティアを石川県に計3回派遣。3回目は、4月8日から9日までの間に2名(内1名は水産土木建設技術センター所属)を派遣した。

令和5年度水産基盤整備調査委託事業「漁業地域復旧・復興対策緊急調査」を共同で受託し、今後、復旧・復興に向けた本格的な議論の場となる「能登地域の水産

委員を始め検討会の関係者は、5月15日に現地を視察するとともに、第一回検討会を翌16日に金沢市内で開催し、漁港施設の被害状況、被災パターンの分析、被災方針、方法の考え方を留意点、能登半島の漁港の復興にあたって重要な視点等について議論した。

水産関係団体トップ
水産業の再生復興で要請



要望書を手渡す枝元会長(右から4人目)と受け取る森長官(左隣り)

枝元会長は「被災地の首長はみな、被災に悩まれていることを心配し、出られぬことを心配している。漁業者が日々、早く漁に出てもうけるための観点から要請する」と述べた。

森長官は「漁港や関係施設の復旧など、漁業の再開に向けた支援を進めている。少しずつではあるが、一部で漁が再開している。県では漁港の復旧方針のための検討会を立ち上げ、政府も検討を加えている。現場の声を聞きながら復興を早急に成し遂げたい」と述べた。

水産庁
漁港漁場関係担当者会議を開催

水産庁は、第23回漁港関係団体連絡会を開催し、意見交換を行った。

執行を図ることを目的に毎年実施している。会議は災害部門と検査部門とに分けて行われた。

第71回 通常総会を開催

北海道漁港漁場協会

北海道漁港漁場協会(会長・高橋晃伸)は、4月24日13時から札幌市内のホテルホールで第71回通常総会を開催した。

協会は、漁村の活性化のため、漁港多目的利用や、生命・財産を護る漁港の防災・減災対策の推進を関係機関に要望してきており、この度の執行は、これまでの努力の結果とされている。水産基盤の整備促進に尽力

り、一貫して水産基盤整備の推進に努めてきたが、田安、物産局の影響が、整備の進捗や協会の運営に影響を及ぼしつつある。健全な運営と事業の継続・強化に二層努力して参りたい。昨年の改正漁港漁場整備法では、海産物の推進のため、漁港の多目的利用や利用者との連携施設等が制度化された。

創立70周年記念大会を開催

北海道漁港漁場協会



挨拶する高橋会長

北海道漁港漁場協会(会長・高橋昌幸)は、4月24日15時から札幌市のホテルホリスター札幌において、創立70周年記念大会を開催した。

冒頭、高橋会長から「当協会は、昭和29年の創立から70周年を迎えた。この間、諸先輩方の努力や関係機関のご支援協力により、漁港の拡張や衛生管理、防災・減災施設等の整備が計画的に推進され、安全・安心な中での漁港利用が可能となってきた。

また、昭和43年から2年ごとに北海道漁港大(会長・高橋昌幸)は、4月24日15時から札幌市のホテルホリスター札幌において、創立70周年記念大会を開催した。

このように、安全・安心な北海道漁港の発展に貢献するべく、今後も積極的に活動していくことが、成長産業としての発展に重要とされている。生産基

盤の漁港と漁場を確実に機能させ、漁港の多角的な利用や漁村の魅力の発信等に努めること。漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。

予算の確保、法制度の改正、漁港漁場整備長期計画の策定、地域資源と漁港の連携など、漁港の発展に不可欠な要素である。

漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。

漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。

漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。

令和6年度 定時総会・懇親会を開催

(一社) 全日本漁港建設協会

(一社)全日本漁港建設協会(会長・石川重隆)は、5月9日午後4時30分から浅草ビューホテルにおいて、令和6年度定時総会を開催した。

総会には先立ち表彰式が行われ、漁港漁場関係事業優良請負者として水産庁で表彰された全日本漁港建設協会会員10社に対する記念品の贈呈と、協会表彰受賞者として42名に対する表彰が行われた。

また、昭和43年から2年ごとに北海道漁港大(会長・高橋昌幸)は、4月24日15時から札幌市のホテルホリスター札幌において、創立70周年記念大会を開催した。

このように、安全・安心な北海道漁港の発展に貢献するべく、今後も積極的に活動していくことが、成長産業としての発展に重要とされている。生産基

盤の漁港と漁場を確実に機能させ、漁港の多角的な利用や漁村の魅力の発信等に努めること。漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。

予算の確保、法制度の改正、漁港漁場整備長期計画の策定、地域資源と漁港の連携など、漁港の発展に不可欠な要素である。

漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。

漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。

漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。

漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。

総会では最初に岡会長から「本年元日早々、石川県能登半島を中心に大きな地震が発生いたしました。



総会の様子

皆様にお話し申し上げましたこと、多くの支助から支援金・義援金のご協力をいただきました。会員の皆様は心温まるご厚意を改めて御礼申し上げます。東日本大震災への支援を全国の会員が経験するのを踏まえて、災害復興に貢献するべく、今後も積極的に活動していくことが、成長産業としての発展に重要とされている。

予算の確保、法制度の改正、漁港漁場整備長期計画の策定、地域資源と漁港の連携など、漁港の発展に不可欠な要素である。

漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。

漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。

漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。

漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。

漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。

漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。

優良請負者を表彰

水産庁 漁港漁場関係事業

水産庁は令和6年度漁港関係関係事業への優良請負者を表彰し、その功績を称えたいと、5月9日開催した。同表

予算の確保、法制度の改正、漁港漁場整備長期計画の策定、地域資源と漁港の連携など、漁港の発展に不可欠な要素である。

漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。

漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。

漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。

漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。漁港の整備は、漁業の持続的な発展に不可欠な要素である。

2024 漁港漁場漁村海岸写真コンクール

Advertisement for the 2024 Fishery Port, Fishery Field, Fishery Village, and Coastal Photo Contest. It includes details about the contest theme, submission period (from June 1st), and prizes. It also features a photo of the contest winners and a QR code for more information.

24年春の勲章受章者 影山氏に瑞宝中綬章

政府は4月20日付で、2024年春の勲章受章者を発表しました。影山氏(全日本漁港建設協会)は、漁港漁場関係事業の功績を認め、瑞宝中綬章を受章しました。



影山氏